

EM団子と空芯菜

今年もやります

がけ川ジャブジャブ大作戦

原児
足立7/1

今年も始まる「がけ川ジ
ヤブジャブ大作戦200
4」。

昨年、環境問題に取組む
NPO足立グリーンプロジェクト
（平田裕之代表）と
地域住民、そして行政が協
力し、延べ2200人が参
加してがけ川（足立区の北
東部にある、八潮市との県
境を流れる川）の浄化に取
組んできた。

6月3日、六木住区セン
ターで「大集合」が行われ
た。同プロジェクトチーム
の鈴木久雄会長（神明上町
会会長）は「今年は、八潮
の川をきれいにする事も協
力してくれる」とになつ
た。皆で一緒に頑張ってい
きたい」と活動の広がりを
報告した。約80人が参加し
たこの集会では、今年の活
動についての予定や質疑応
答が行われ、早くも熱気ム
ンムン。

昨年は主に、赤土にEM
があり130人が集まっ
た。「今年も頑張ろう」の
雨模様の6月13日、第1
回EM団子作りが小瀬井排
水機場（足立区神明一丁目）
で行われた。地域住民はも
とより、八潮市からも参加
者が多かった。昨年は主に、赤土にEM

園（有用微生物群）をませ
て発酵させた団子をがけ川
に投げ込み、微生物にヘド
ロを分解してもらうという
ものだった。その数は2万
7000個にも及んだ。し
かし、今年はさらにバージ
ョンアップを図った。第十
三中の『十三（とうさん
の会』からの提案で、根か
らヘドロを吸いあげ、川を
浄化してくれるという「空
芯菜（くうしんさい）」を
川に浮かべて育てるといっ
た新しい試みも。また、獨
協大学高松ゼミの学生が8
月7日・8日に第十三中で
「夏休み親子環境教室」を
実施する予定。

□ □ ■



EM団子を投げ込む参加者たち（6月27日）

掛け声で一齊に団子作りが
始まった。一方、川では筏
（いかだ）を組み、土の入
ったケースに空芯菜の種を
蒔き、川面に浮かべる作業
が進められた。「落っこち
るなよ」とひやかされなが
らも、いかだが設置に成功。
EM団子は2500個出来
上がった。実はこの団子を
去年は一週間後に川に投げ
込んだ。しかし、充分に発
酵させたほうが、微生物が

今年初めてのEM団子投
げが6月24日に行われた。
「きれいな川を取り戻そう」
という会団とどどに集まつ
た約150人が、小瀬井排
水機場近くのがけ川にEM
団子約2500個を投げ込
んだ。このあと、平成原橋

より活発にヘドロを分解し
てくれるということで、今
年は2週間じっくりと発酵
させることになった。

□ ■ ■ ■

まだ、今年の自手となつ
ている空芯菜は、川に浮か
べた筏に乗せたケースから
土が流れ出し、一緒に種も
流れてしまつというハプニ
ンク発生。この日は改良に
終始したが、思わず「苦心
菜」という声もあがつた。

■ ■ ■ ■

近隣の第十三中では、昨

付近でも約1000個を投
入。この時、団子投げの様
子を見ていた人の飛び入り
参加もあった。

他にも、六木小学校で親
子の勉強会を開いたりE
M団子作りなどを実施して
いる。昨年の活動で、EM
団子作りなどを実施してい
る。

国際ボラ貯金を寄附

足立北郵便局

6月28日、足立北郵便局

の平成16年度国際ボランティア貯金寄付金配分決定通
知式で、管内の「NPO法人アジア・レインボーアソシエーション」（馬場裕
美子理事長）にも配分され
る」とが通知された。

国際ボランティア貯金と
は、預金者が貯金額の税引
き後の受取利子の全額、ま
たは一部を寄付したもの。
 국제的に活動する団体を通
じて、開発途上地域の福祉

向上に役立てられる。
同団体はカンボジアのストリート
チルドレンに対する
教育支援、および
ベトナムの障害者を
もつ児童たちへの
教育支援を行って
いる。昨年の活動
実績が評価され、
配分決定となつ
た。今年度は38万